

# 市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

今月

## 市民活動支援センター(あくろす) ついに迎える定年の日！

調布市市民活動支援センターをご利用の皆様、また、この「えんがわだより」をお手に取ってくださった皆様、私は、この3月31日をもって定年退職を迎え、調布社協での36年間のうち最後の8年を過ごしたセンターを離れることになります。思い起こせば、平成27年4月に着任以来、多くの皆様に支えられながら、センター長の職責を全うすることができたことを心から嬉しく思うとともに、皆様に深く感謝いたします。

「はばたき」を利用される皆様とのふれあいを大切にとできるだけ声掛けを行ってきましたが、半面、生まれつき声大きいことで、「うるさい」と感じられ、活動のお邪魔になった場面もあったかと思ひます。申し訳ありませんでした。

様々な事業やセンターの中で、皆様から頂いた温かい言葉や励まし、叱責を自分の糧として第二の人生に向かっていきます。

4月からは新たなセンター長を迎え、また新しい1歩が踏み出されます。皆様のご協力を頂きながら、調布における市民活動がさらに充実し、活発になることを心から願っています。

定年退職を控え、皆様へのお礼のご挨拶とさせていただきます。8年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



この場所を活かしてね！

(たかぎ)

## 緑ヶ丘コーナー 3年間待ってたよー

2月25日(土)「緑ヶ丘・仙川ふれ愛のつどい」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍で、地域のおまつりが長い間自粛せざるを得なくなっていたこともあってか、花のつぼみが一齐に開いたかのように、多くの人々が集いあい、楽しそうな笑顔が溢れる一日となりました。



みんなの夢や希望がかなう未来を！

実行委員会の皆さまが準備をして、壁に描かれたまつりのテーマ「きぼうの木」には、参加された一人ひとりのメッセージカードがいっぱいに、未来への夢や希望が書かれた葉っぱで、埋め尽くされました。また、空くじなしのくじ引きも、当選者が出るたびに嬉しそうな笑顔が見られました。他には模擬店やバザー、子どもさん向けのゲームや風船あそびコーナーなどの出店、小規模ながら、舞台でも日頃の成果を発表されるなど、3時間があっという間に過ぎてしまいました。

人と人が繋がり、集いあい、楽しむ場が、これほど待たれていたことを、肌で感じる集いになりました。これからも、地域の人々のエネルギーが集まって、暮らしやすい街になっていく拠点でありたいと、願ってやみません。

(おりはら)